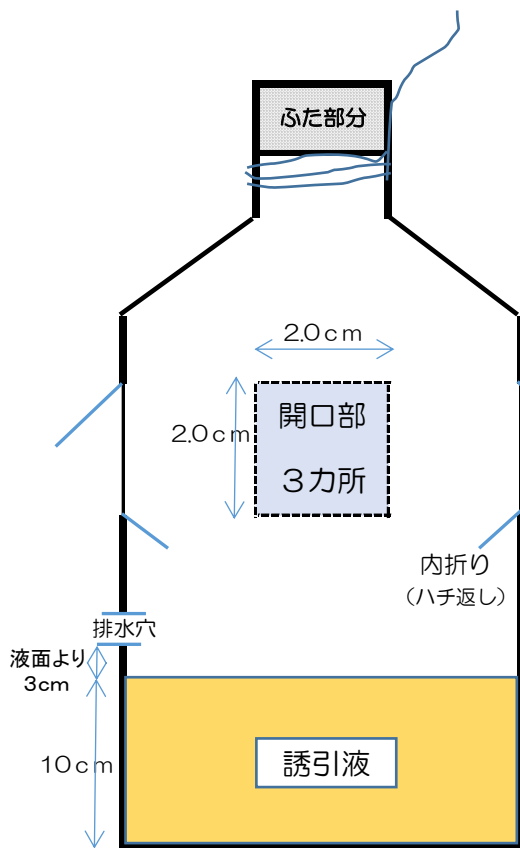


スズメバチ トラップの作り方

スズメバチの女王バチは、4月中頃に冬眠から目覚め、巣づくりを始めます。その女王バチをトラップにより捕獲することで、夏以降に増加するスズメバチの繁殖を抑える効果が期待できます。

☆捕獲用トラップ



※ 材料

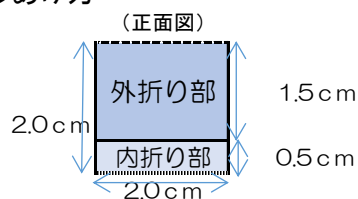
- 1) ペットボトル (1.5ℓ～1.8ℓ程度)
- 2) ジュース (果汁・乳酸飲料等)
- 3) 酒類 (ワイン・日本酒等)
- 4) 酢、砂糖
- 5) 梱包用ひも等

外折り
(雨よけ)

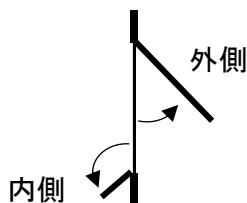
誘引液：

ジュース：酒類：酢を、5：4：1の割合で混合し、少量の砂糖を加えます。誘引液の効果は、2～3週間程度になります。(誘引液の補充の目安にして下さい。材料、条件により異なる場合があります。)

※ 開口部のあけ方



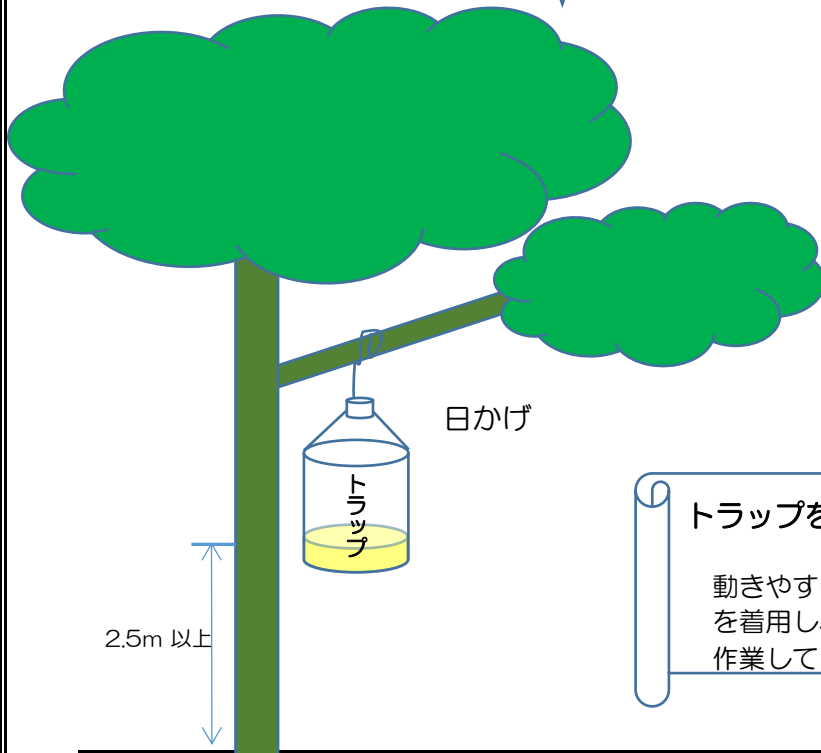
(側面図)



- ① 実線部分をH形にカッター等で切れ目を入れます。
- ② 点線部分より上の部分を外折り、下の部分を内折りにします。

※ 排水穴：雨水で誘引液が増加し、開口部より溢れ出るのを防止します。

★捕獲用トラップの設置



トラップを設置する時は

動きやすい服装に軍手等を着用し、安全に留意して、作業してください。

注) 必要に応じ、貼紙などをして知らない人が近づかない様に注意喚起してください。

設置について

- 1) 直射日光の当たらない木の枝等の高さ2.5m以上（子どもの手の届かないの位置）に梱包用のひも等で固定します。
- 2) **設置期間は4月中頃から6月初旬。6月初旬に必ず取り外してください。**
(6月初旬以降は働き蜂も誘引するので危険です。)
- 3) 管理地・所有地内に設置して下さい。
それ以外の場所には設置しないでください。

●捕獲用トラップの回収と廃棄

- 回収する時は、開口部を粘着テープなどで塞ぎ、捕獲した蜂の生存を確認します。
- 生存する蜂がいた場合は、開口部から殺虫剤を噴霧してください。
- 生存する蜂がいなくなったら、残った誘引液を捨て、可燃ごみに出します。

注意：死んだハチに直接触れないこと。触れると毒針が刺さることがあります。

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55
船橋市保健所 衛生指導課 環境指導係
☎ 047-409-2563 Fax 047-409-2592
e-mail : ho-shido@city.funabashi.lg.jp